

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	市立ひらかた子ども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年2月27日		～ 令和8年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	93	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年2月27日		～ 令和8年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士だけでなく理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など多職種職員が連携しながら、子どもたち一人ひとりの発達状況や障害特性にあわせた専門的な療育を提供している。	多職種の職員で検討する場を設け、それぞれの視点から意見を出し合い、より良い支援につげることができるように取り組んでいる。	職員が障害のある子どもに対して、より良い療育・支援を提供するために、職員の資質、知識、技術の向上をはかる研修等に参加している。
2	動物ふれあい事業や音楽を身近に親しむ機会の提供など、特色あるイベントの実施。	子どもたちが普段の療育の中では体験できないような、動物や音楽などに興味や関心を持ったり、新たな発見ができたような取り組みを実施している。	引き続き、新たな取り組みの実施などを検討し、療育の充実に努めます。
3	通園バス、タクシーなどによる送迎支援。	こどもの乗車時間が長時間にならないように送迎ルートの検討を行い、より効率的に送迎支援を行っている。	自家用車がない利用者等が通所できるように一定の要件のもと、引き続き、送迎支援を実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	両親やきょうだい児が交流できる機会が少ない。	土日祝日が休所日であるため、保護者会やクラス懇談会などは通所日(平日)に開催することが多いため、幅広い交流の機会とはなっていない。	運動会等きょうだい児を含め家族で参加、交流ができる機会を設けているが、より幅広く交流できる機会について、検討する。
2			
3			